

バリアフリーデザイン研究会 2007年1月例会報告

第8回 受講者 各グループの全体発表会

開催日時：平成19年1月27日(土) 午後1時から午後4時

開催場所：熊本市庁舎14階ホール

受講生26名、一般23名、スタッフ23名 計72名



『概要報告』

西島会長の挨拶ではじまり会長の紹介で講座4の講師故木浦博文さんの急逝にたいして、全員で黙祷し木浦さんのご冥福を祈りました。

続いて、各グループの発表内容が始まりました。概要は下記の通り。5グループは、たぬき、くま、うま、とら、しかでした。

たぬきさんチーム テーマ「やさしいまちづくりの今後」

・メンバー紹介 この講座に参加したきっかけを各々話す

・講座を通して見えてきたもの

第1回から第7回までをふりかえる

車椅子での体験での歩道

・何故歩道なのか～テーマの選定

道路や歩道にあるサインについて興味を持った

歩道のや構造、歩道での障害物に着目

歩道を使う人のマナーの問題にも注目

・いい歩道を考える

光の森、白山通り、九品寺、田迎(旧浜線)

・よりよい歩道をつくるには

自分でやれるところから始めてみる

・今回の感想 知り、考え、動く

・道路維持・管理をしているところを知ることから

歩道についての意見・苦情・要望の連絡先の紹介

会場から質疑……

視覚障害者からの視点があるとさらによかった。

ゴム製の歩道がいいという意見があったが夏は70度くらいになり暑い

そんな点にも注目してみてもはどうだろうかとの指摘。厳しい突込みだった、こんな素材を改善できないものか？



くまさんチーム テーマ「快適に暮らせるまちづくり未来予想図」 ビデオを使ったニュースレポート風

1 熊本市の現状と高齢者・しょうがいを持つひとにとって一番大切な環境とは

2 山の神地区の調査(問題点)

3 山ノ神地区の検討

4 未来予想図

5 まとめ

会場から質疑……

スロープがついたバスなのに、使わずに人力で乗せたのはなぜか？

バスの運転手さんが降りてきて対応したが

人数が揃っていたから使わなかったのでは？

人数が多いとからいいと思ったのではと回答。

車椅子の澤田さんからの助言として、

スロープの方が安全で普段の生活にどういふうにスロープを使っているのか

ちょうどいい機会だったのと惜しい。とコメントがありました。



うまさんチーム テーマ「熊本の観光地てんけん隊」

1 作業細分化

2 日程計画

3 実施 第1回 平成18年12月17日(日) 熊本空港及び熊本港

第2回 平成18年1月14日(日) 熊本城

スライドにより気づいたポイントを説明、熊本観光にあたらな視点を披露。



しかさんチーム テーマ「お互いを理解しあい『気持ちのいいまち・みんながやさしい街に』」 寸劇仕立て

- 1 とあるバスにて
男性が学生にお年寄りが立っている席を譲るように注意するが、
学生の友人がこの子も立っていると危ないといい、
わからず悪かったと謝る
- 2 見えるしょうがい、見えないしょうがい
- 3 しょうがいは？・・・
しょうがい者手帳を持っているということではない
- 4 目印やマークって・・・周囲の視線や悪用も？
- 5 目印を作ろう
- 6 アンケートをとろう
- 7 アンケートから 51名の回答のうち46名が賛成6名が反対
- 8 耳マーク？
- 9 いろいろなマークの紹介
- 10 試作のマーク
困ったときや手助けをして欲しいときに胸につけたりストラップにしたり。
- 11 結論・・・「障害」も一つの「個性」として



とらさんチーム テーマ 気付いて、変えよう『旅』のバリア ～観光地くまもとを巡る 日帰りの『旅づくり』を通して～
東北から、遊びにくる車椅子の恋人を熊本空港に迎えに行き、観光地を回り、JRで見送るという設定

- 1 はじめに ～誰だって旅を楽しみたい～
- 2 行程 熊本空港→周遊バス→熊本城→周遊バス→上通りアーケード→路面電車→水前寺公園→JR→熊本駅
交通センターで乗車拒否をされる
熊本城では必要であれば市へ連絡が入り助けてくれるようだ
お店の方々が手伝ってくれる
- 3 旅のバリア
①ハード面(もの・まち・のりもの)
②ソフト面(情報・サービス)
- 4 おわりに～気付いて変えよう『旅のバリア』
車椅子でいける情報がないので必要がある
会場より質疑・・・
介助犬、盲導犬の表示はどうだったか、又天守閣のなかは見ることができたか？



講評:熊本大学の鳥飼香代子先生が、各グループの発表にたいして講評
全8回の講座を終了した受講者に敬意を表しながら、日常的な視点や表現方法についての的確な寸評をいただきました。

会長から各受講生へ修了証授与、
各グループの記念撮影をして終了。

続いて17:00より、受講者とスタッフによる懇親会を開催しました。
参加者 受講生17名、スタッフ18名
参加者や、スタッフからは第3回養成講座開催への期待も寄せられました。



修了証授与式



スタッフ一同

